

Nursery school



写真上 保育所の玄関前に設けた横断歩道で練習をする高橋昊雅くん(左)と鈴木愛咲さん(右)
写真下 記念品のハンカチなどを受け取る小椋さん(左)と松本さん(右)

みんなで学ぼう交通ルール

クロネコヤマト交通教室は6月18日、猪苗代保育所、中の沢保育所とさくらこども園で実施されました。

この教室は、子どものうちから安全教育を徹底していくためにヤマト運輸(株)が毎年開催しているもの。この日は会津地区の各営業所の安全委員など10人が2班編成で3施設を訪問しました。

中の沢保育所で指導に当たった古河雄二さん(磐梯高原センター)ら6人は、車の周りで遊ぶことや車の下に入る危険性を人形などを使って説明。2人1組になった園児らに、横断歩道を渡る際の注意点などを指導しました。

児童を代表して記念品を受け取ったさくら組の小椋怜南さんと松本レイさんは、「楽しくわかりやすく教えてもらいました。道路を渡るときは気をつけるようにします」と元気に答えました。

Junior high school



写真上 ブロックに跳ぶ東中の選手。東中は終始安定したプレーを展開し、全ての試合で1セットも落とさずに優勝を決めました
写真下 得点を決め、タッチする東中の選手ら

優勝を目指し各競技で熱戦

北会津管内中学校体育大会総合大会は6月5、6の両日、猪苗代・磐梯の両町で開かれ、各競技で熱戦を繰り広げました。主な成績は次のとおりです。

軟式野球①猪苗代中、バレーボール①東中、バスケットボール 男子①猪苗代中、卓球 男子団体①猪苗代中、男子オープン①志賀亜清(東)、2年男子①小澤航太郎(猪苗代)、1年男子①田中優光(吾妻)、男子ダブルス①鈴木公祐・黒金優寛(猪苗代)、女子団体①磐梯中、女子オープン①松川瑛美(磐梯)、2年女子①佐藤亜美(東)、1年女子①高橋佳奈(同)、女子ダブルス①高橋くるみ・安部睦(同)、剣道 男子個人①栗田翼(猪苗代)、女子個人①笠間弓加(同)、バドミントン 男子シングル①薄崇彦(猪苗代)、男子ダブルス①穴澤大・吉川大(同)、女子シングル①川井彩乃(同)、女子ダブルス①大竹友貴・古川有李紗(同)

スクールトピックス & ニュース INAWASHIRO

Special support education school

一人でも多くの命救うため

猪苗代養護学校(原美子校長)のペットボトルキャップ贈呈式は6月27日、同校で催されました。贈呈されたキャップは、資源の再利用などを図るため、同校の生徒らが回収したもの。昨年からの取り組みで集まったキャップ3538個が、第一生命保険株式会社福島支社に寄託されました。

式では、同校生徒会の永井一希副会長が「ポリオワクチンが足りない子どもたちのために使ってください」と、丸山智子会長、遠藤美咲副会長とともに第一生命保険株式会社福島支社の姥澤秀仁会津ブロック営業部長ら3人にキャップを手渡しました。

「エコキャップ運動」に取り組む同社は、回収したキャップを再資源化して得た収益を「NPO法人世界の子供にワクチンを日本委員会」に寄付。同法人が寄付金で購入したポリオワクチンは、途上国の子どもたちに届けられます。



写真上 左からキャップを贈呈する遠藤副会長、永井副会長、丸山会長と受け取る姥澤部長、佐藤さん、古川さん
写真下 集められたキャップは、ワクチンになり子どもたちの命を救います

古里の宝、猪苗代湖を守れ

東中学校の1年生は6月27日、天神浜で湖畔の清掃活動に取り組みました。

この活動は、奉仕作業を通して福祉に対する適切な考え方や態度を育て、自己の将来の生き方や他人との関わり方について考える機会を作る、総合学習の一環として実施されたものです。

生徒40人は、天神浜に着くと一斉に清掃を開始。湖岸に打ち上げられた水草や捨てられたごみなどを拾い集めました。1年1組学級委員長の加藤咲希さんは、「ごみが多くて驚いた。ごみを捨てる人がいることが悲しい。猪苗代湖をきれいにして、観光客にたくさん来てもらえるようにしたい」と感想を述べました。

清掃活動終了後には、生徒らが事前に作成したポイ捨て禁止のポスター11枚を天神浜の松林の木にくくり付け、環境美化の啓発を図りました。



写真上 天神浜のごみを拾う生徒たち
写真下 左から吉田勇大さん、渡部大輝さん、遠藤輝汰さん。重そうにゴミ袋を持ちながら「一番きれいな湖に戻ってほしい」と話しました

Junior high school